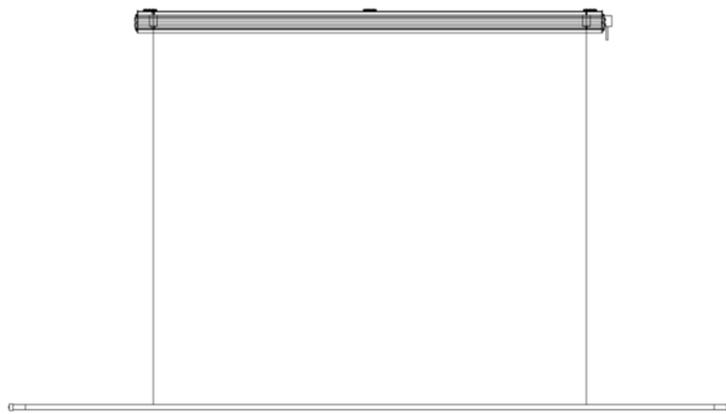


*ご使用する方に必ずこの取扱説明書をお渡し下さい。

取扱説明書 手動昇降ボタン くるくるボタン



このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に、製品を正しく安全にご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読み下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。
万一、ご使用中にわからない事や不具合が生じたときはお役に立ちます。

安全上のご注意

□絵表示について この「取扱説明書」では、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり周囲の家財に損害を与えたりする事があります。

□絵表示の例



この記号はしてはいけない内容です。



この記号は実行しなければならない内容です。

警告



**引抜強度を確保できる場所に
取り付けて下さい。**

必ず守る

取付場所の強度が不十分な時、落下などで事故の原因になります。

* 十分な強度
(最低引抜強度5倍以上)に補強してから取り付けて下さい。



**異物を
入れないで下さい。**

禁止

液体や金属などが内部に入ると、故障の原因になります。



**振動する場所に
取り付けないで
下さい。**

禁止

部品などが破損し、故障や落下などで事故の原因になります。



**塩素や腐食性ガスが
発生する場所に
設置しないで下さい。**

禁止

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。



**油の付着しやすい
場所に設置しないで
下さい。**

禁止

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。



**火気近くでは使用
しないで下さい。**

禁止

ストーブなど火気近くでは使用しないで下さい。
火災・火傷・故障の原因になります。



**可燃性ガスの中
で使用しないで
下さい。**

禁止

可燃性ガスに引火・爆発する恐れがあります。



**高温・多湿の
場所では使用
しないで下さい。**

禁止

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。

警告



分解禁止

製品を改造したり、
部品交換をしないで
下さい。

怪我・故障・事故などで
事故の原因になります。



手をふれない

危険ですので
お子様に手を触れ
させないで下さい。

事故に繋がる恐れが
あります。周囲の安全を
確認してご使用下さい。



必ず守る

バトン棒に
ぶら下がったり、
不安定な状態で物を
掛けたりしないで
下さい。

注意



必ず守る

バトンを
昇降させる時、
周囲に人や障害物が
ない事を確認して
から操作して下さい。



必ず守る

製品を安全に使用
するために、
1年に1回はP.8の
「安全チェックシート」
に基づき、自主点検を
行って下さい。



必ず守る

バトン棒の長さに対し、
均等に荷重をかけて
下さい。
片寄った荷重を
かけると故障・落下の
原因になります。



必ず守る

廃棄は専門業者に
依頼して下さい。
燃やすと化学物質
などで目を痛めたり、
火災・火傷の原因に
なります。



必ず守る

製品には寿命が
あります。
設置して年月が経つと
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行
しています。
点検・交換をして
下さい。



必ず守る

積載荷重以上の物を
吊り下げないで下さい。



手をふれない

製品の取り付け・
取り外しは、
販売店または専門の
工事業者にご依頼
下さい。



必ず守る

使用しない場合でも。
1ヶ月に1度、
動作確認を
行って下さい。



必ず守る

作業を行う場合は、
十分な照度を確保
して下さい。



禁止

看板等をバトンに
吊るす時には、
バトンを絶対に
持ち上げないで下さい。



必ず守る

ワイヤーに緩みがある
状態での昇降は
しないで下さい。
故障の原因になります。



必ず守る

吊物が揺れている
状態でバトンを昇降
させないで下さい。



注意

使用場所・取付場所・保管について

直射日光の当たる場所には置かないで下さい。
ホコリ・高温多湿の場所では使用しないで下さい。
風が強い時は、製品を使用しないか窓を閉めてご使用下さい。

◆免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

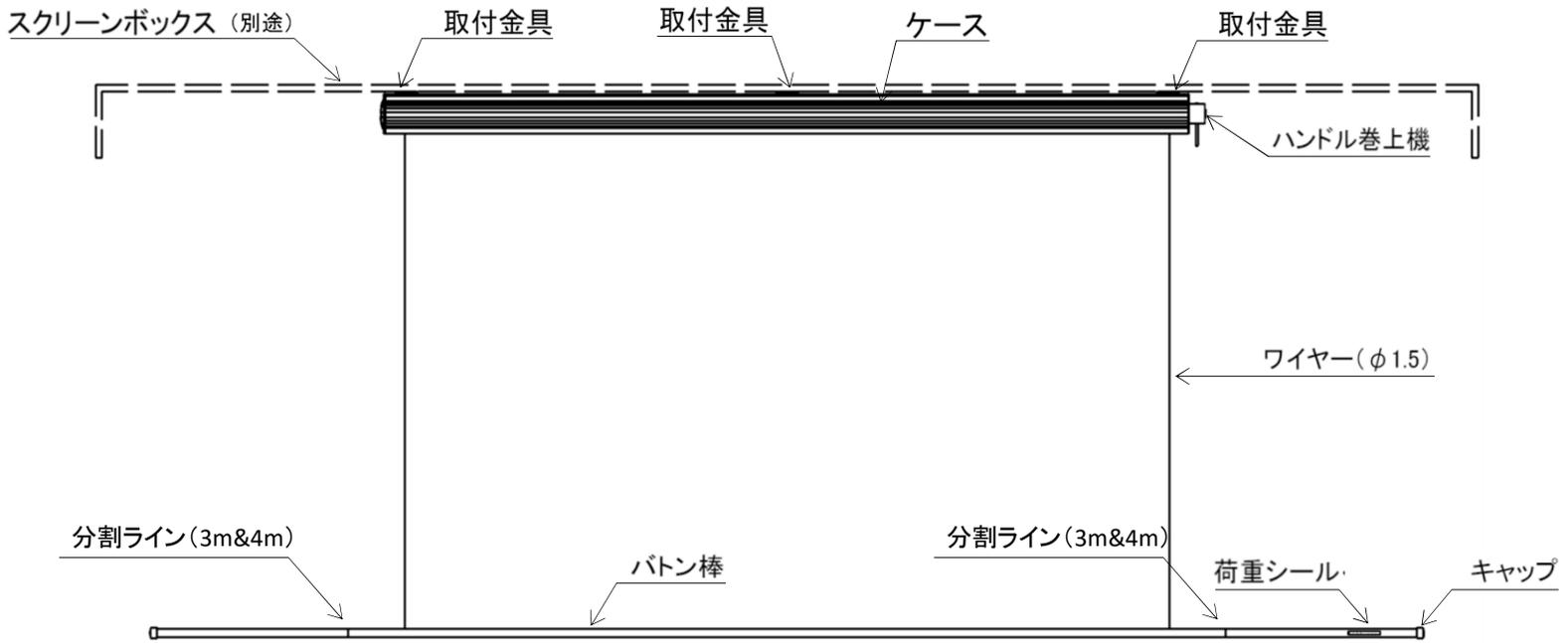
- ① 本取扱説明書記載の内容に反した工事、使用により発生した損害・被害
- ② 本製品の不良・不具合以外の事由（火災・自然災害・設置工事の不備・建屋側取付面の不良などを含む）による損害・被害
- ③ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用できない事で被る不便・損害・被害

製品の取付手順

*製品が間違っていないか、付属品がきちんと揃っているかお確かめ下さい。



本製品は工場出荷時に調整済みです。分解せずに取り付けて下さい。

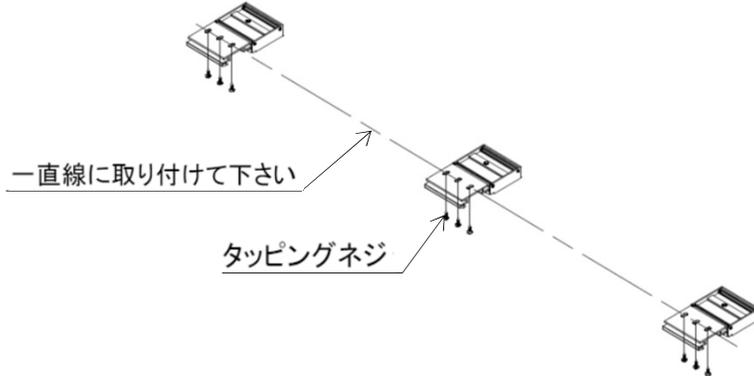


付属品	タッピングネジ	取付金具	Sカン
BL=2000 BL=3000 BL=4000	9本 (4×40)	3個	2個
ハンドル (L=1600)			1本

※ケース落下防止ワイヤーセットの付属品は4ページに記載しております。

1 取付金具の設置

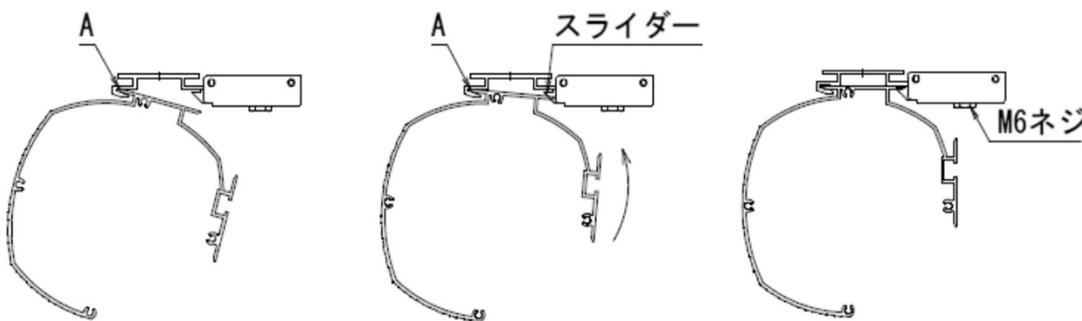
取付金具のスライダーを固定しているM6ネジを少し緩めて、スライダーがスムーズに動く事を確認して下さい。取付金具3個を並べて一直線になるよう、付属のタッピングネジでしっかり固定して下さい。



※ 左右の取付金具は、なるべくケース両端の位置になるように、しっかりと固定して下さい。

2 ケースの固定

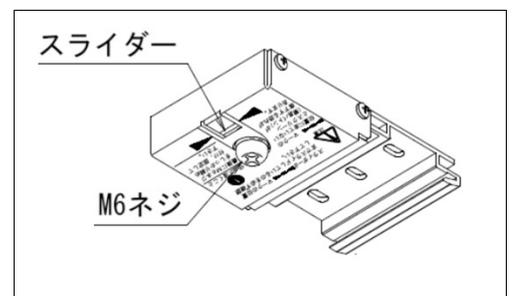
下記の順序でスクリーンケースを取り付けて下さい。



ケースを傾けながら **ケース取付金具内部(A部)** に押し当てる。

Aを支点にケースを上げる(円弧の動き)。スライダーがスムーズに後退する事。

スライダーがバネの力で戻る時、**カチッと音がするまで押し込む。**



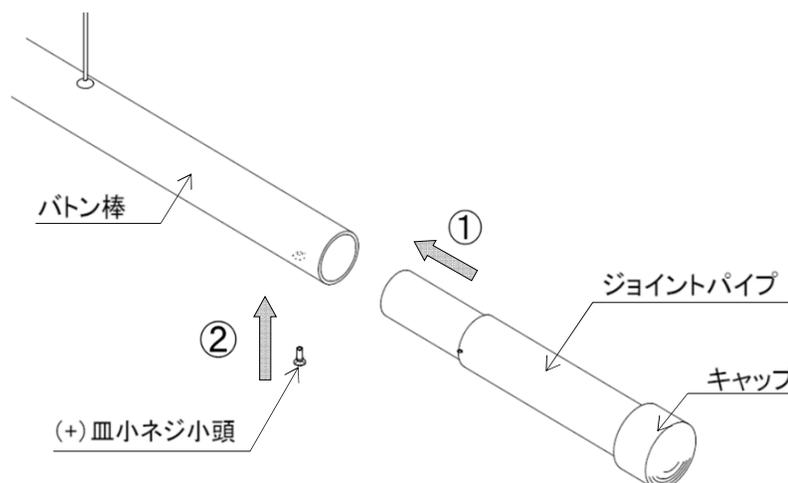
スライダーが▶◀マークの位置までスライドしているのを必ず確認して下さい。
* スクリーンが脱落する危険があります。最後にM6ネジをしっかり締め付け、固定して下さい。

ジョイントパイプの接続方法 (バトン棒3m&4m)

<取付方法>

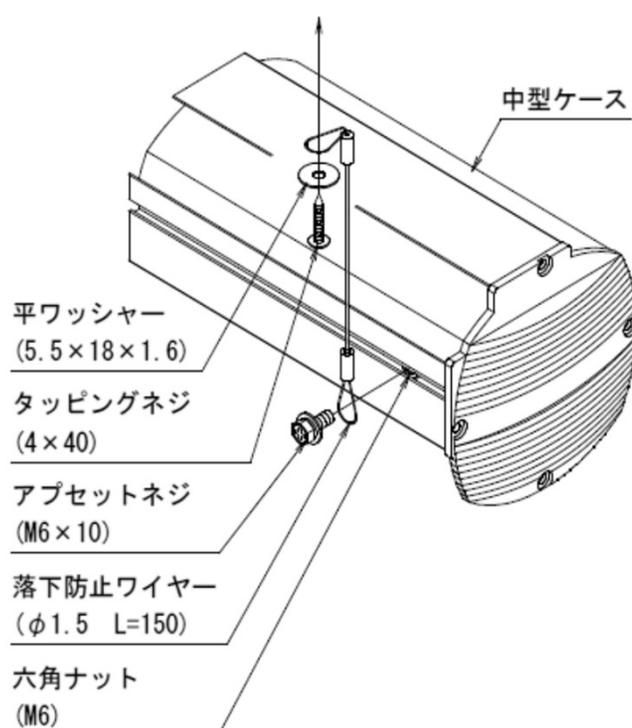
- ① ジョイントパイプを差し込んで下さい。
 - ② (+) 皿小ネジ小頭M4×8で固定して下さい。
- ※反対側も同様に差し込み、固定して下さい。

付属品	ジョイントパイプ	(+) 皿小ネジ小頭 M4×8
	2本 (キャップは組込み済)	2個



ケース落下防止ワイヤーセットの取付手順

- 天井もしくはボックス上部に取り付けます。



付属品		
	落下防止ワイヤー (φ1.5 L=150)	2本
	平ワッシャー (5.5×18×1.6)	2個
	タッピングネジ (4×40)	2本
	アプセットネジ (M6×10)	2本
	※六角ナット (M6)	2個

※六角ナットはケースに組み込まれています。

● ケース落下防止ワイヤーセットの取付

落下防止ワイヤーの輪にアプセットネジM6×10を通してケース本体のM6ナットに取り付けます。落下防止ワイヤーのもう一方の輪にはタッピングネジ4×40に平ワッシャーを取り付けてから天井もしくはボックス上部にねじ込みます。落下防止ワイヤーは、製品取付部と天井取付部の間にたるみが出来ないように取り付けして下さい。

注意：左右2ヶ所に取り付けて下さい。



このケース落下防止ワイヤーセットは製品を取り付ける為の金具ではありません。
地震や施工不良などの要因で落下する事に対して、より安全を守る為に施工する金具です。



取り付けは建築用鋼製下地材のある所か、補強するなどして十分な強度のある所へ
取り付けして下さい。

バトンの操作方法

- ① ハンドルの先端部Aをハンドル巻上機のフック部aに引っ掛けて下さい。
- ② ハンドルのB部を軸にして上昇下降シールに従ってC部を回して下さい。



注意

下降時ワイヤーの赤い印が見えたらストップする事。

赤い印が出された状態で、さらに下降方向にハンドルを回すとワイヤーが逆に巻き取られ、故障や事故の原因となります。
(見えない範囲で使用して下さい。)



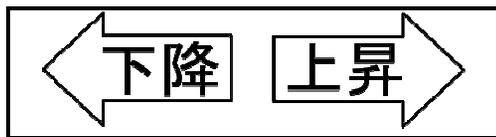
注意

上昇時ハンドル巻上機の少し手前でボタン棒を止める事。

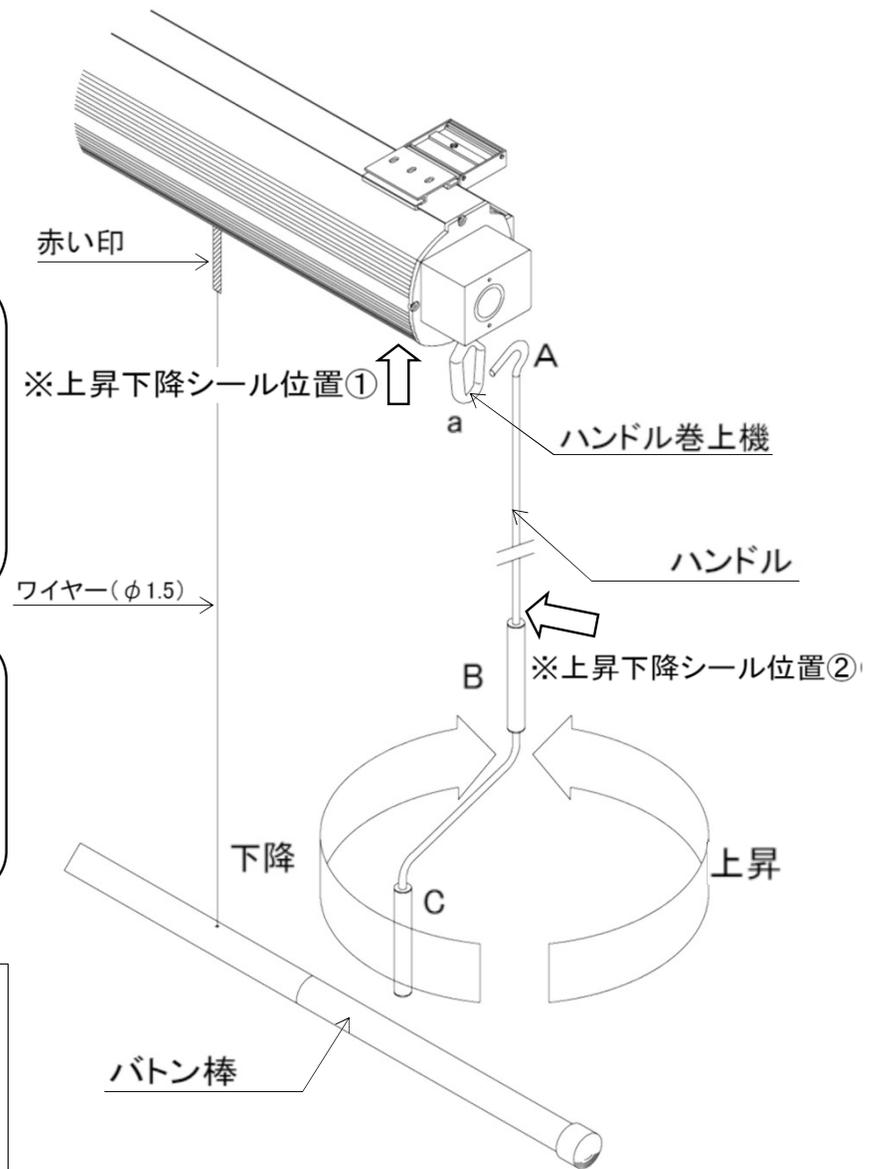
ハンドルを巻きすぎるとワイヤーが破損し、ボタン棒が落下する恐れがあります。



※上昇下降シール位置①

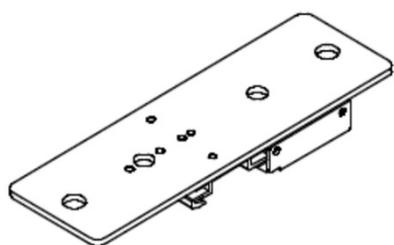


※上昇下降シール位置②

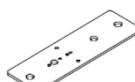


別 売 品

- **ボルト吊金具** 十分な強度のある躯体に取り付け出来るので、より安全性を高める場合にご使用下さい。



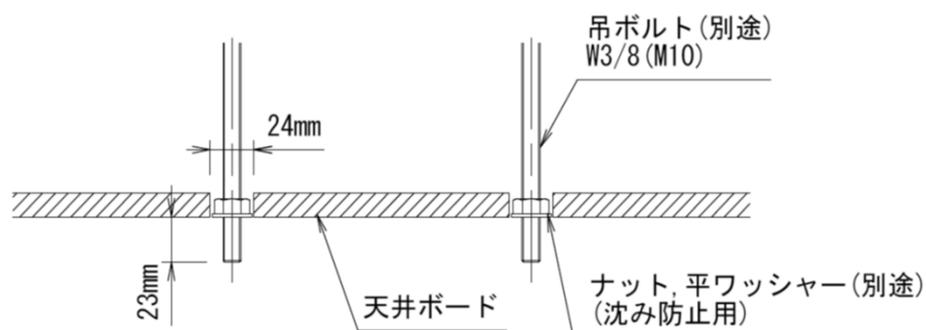
※ 左右のボルト吊金具は、なるべくケース両端の位置になるように、しっかりと固定して下さい。

	ボルト吊プレート	ナベ小ネジ P=3
別売品		
小型ケース	2 枚	6 個 (M4×7)
中型ケース	3 枚	9 個 (M4×7)

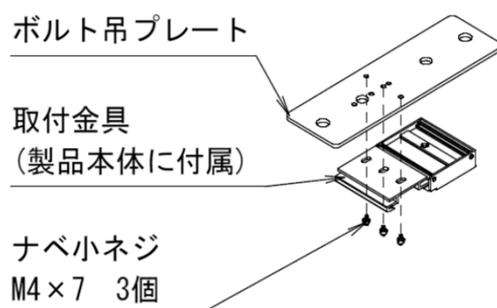
【取付例】

- ① 十分な強度のある躯体より吊ボルトW3/8 (M10) をおろして下さい。

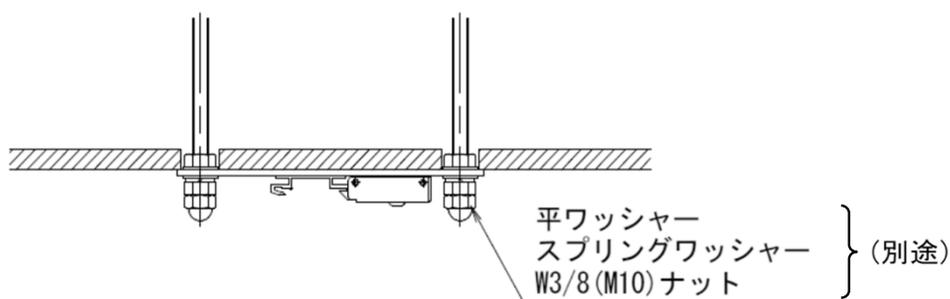
* 天井ボードに、24mm程度のナット・平ワッシャーが通る穴を開けて下さい。
天井面からボルトの突き出し量は、23mm位出して下さい。



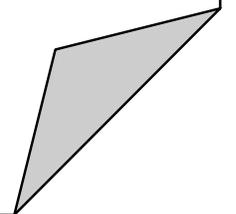
- ② ボルト吊プレートに取付金具をナベ小ネジP=3 (M4×7) のネジでしっかり固定して下さい。



- ③ 最後にボルト吊プレートを吊ボルトW3/8 (M10) に平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットでしっかり固定して下さい。(スクリーンケースの固定はP. 3を参照して下さい。)



*** MEMO ***



より安全にお使いいただくために

お客様へ

製品は経年劣化します。毎年1回の自主点検をお勧め致します。
(空白には気づいた事などを記載して下さい。)

安全点検項目		点検結果									
		日付	日付	日付	日付	日付	日付	日付	日付	日付	日付
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1	ワイヤーが緩んでいない										
2	ワイヤーによれ、破断がない										
3	異音がない(巻取ドラム、ハンドル巻上機)										
4	製品にガタつきがない										
5	取付金具がきちんとついている										
6											
7											
8											
9											
10											

正常：✓ 異常：×

上記項目以外でも不具合があれば、販売店または専門の工事業者にご相談下さい。

設置日：

列架No.：

(ハンドル巻上機にあります)

販売店：

連絡先：